



清水 崑《オランダ万才》1971年制作 紙に着色

長崎くんち画展

開催中 2024年11月2日(土)まで

当館が所蔵する「長崎くんち」を主題とした作品6点の内4点は「阿蘭陀万歳」(※1)を描いたものです。現在開催中の秋季企画展「長崎くんち画展」(※2)では、旭達文、朝比奈文雄、清水崑、鈴木信太郎が描いた「阿蘭陀万歳」を公開しています。同じ演し物を描いている為、描き手によって異なる技法や構図、背景の処理、人物の描写など表現の違いを見比べながら鑑賞することができます。

その中で今回ご紹介する清水崑の《オランダ万才》は、広い顴の帽子に唐扇子を手にした万才と、赤い飾りのついた帽子に鼓を手にした才三を、**ッ**かっぱが演じている様子を描いています。滑らかな筆使いで描かれる愛嬌ある表情やコミカルな動き、大きな襷のある襟や縞柄のズボンなどエキゾチックな衣装も相まって、見ていると思わず顔がほころぶ楽しい作品です。

今年清水崑の没後50年の節目にあたる為、本展では、清水崑の《オランダ万才》と大作《コッコデシヨ》を展示するとともに、その業績をまとめたパネルも併せてご紹介しています。

- (※1)「阿蘭陀万歳」日本に漂着したオランダ人の二人が万才を覚えて正月の祝儀に回る中、故国を思い出して感傷にひたるというストーリーのある踊り
- (※2) 秋季企画展「長崎くんち画展」では、旭達文、朝比奈文雄、清水崑、鈴木信太郎ほか、長崎古版画を含む全6点の作品を公開中(企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります)

清水 崑(しみず こん)：1912~1974。長崎市生まれ。現在の長崎市立長崎商業高等学校を卒業後に上京。戦後、新聞社からの依頼で政治漫画や風刺画を描き人気を博す。週刊誌に「かっぱ天国」を連載以降、かっぱのキャラクターが酒造メーカーの広告などに使用される。晩年は長崎の風物を題材とした作品を描いたほか、「長崎くんち」の東濱町の演し物「竜宮船」のデザインを担当した。

十八親和アートギャラリー

【開館時間】10:00~16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

鑑賞
無料

